

平成 30 年 4 月 26 日 00375 号

編集者:佐 藤 寿 春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

URL <http://www.kitamibudokan.org/>



ニュースレター【事務局情報】 武道振興協会事務所の花シリーズ 「エゾムラサキツツジ」が開花しました。このところの全道的な晴天により北見市内も急激な開花が見られます。事務所や武道館の周りのツツジたちも競い合うように花を咲かせ始めました。「蝦夷紫躑躅」は、ツツジ科ツツジ属の落葉樹（半落葉）で北海道や北東アジアの山地の岩場に分布する高さ約 1 メートルの低木となっています。

ロシアサハリン州サンボ柔道学校の子供たちが「合宿・講習会・大会参加」の3つを行いました！〈合宿〉ロシアサハリン州柔道サンボ学校の 6 選手（小学高学年 3 名・中学生 3 名）が、北見市での柔道合宿と第 40 回北見練心会杯全道少年少女柔道大会に参加するため来北し、若松自然休養村センターに合宿することになりました。

〈講道館柔道実技講習会の開催〉

一行は 4 月 18 日夜に北見入りし、19 日(木) 20 日(金)武道館で行われた「講道館柔道実技講習会」に参加しました。サハリンでは子供たちも国際柔道審判規定で試合が行われており、日本の少



年規定がないため、安全面を配慮した講習会を開催することになりました。公益財団法人講道館の協力が得られ、道場指導部長の鮫島元成講師(八段)が、正しい柔道と柔道精神などを子供たちに分かりやすく伝えてくれました。2 日目の講習会では、サハリンの子供たちに内容を絞って、審判ルール上の危険防止を具体的にロシア語の通訳付きで解説されるなど、ケガ防止の実技指導が行われました。二日間の参加者は 242 名と記録されており、講道館柔道実技講習会への関心の高さを示しています。



〈柔道大会の参加〉 4 月 22 日(日)

に行われた第 40 回北見練心会杯全道少年少女柔道大会では、初めての日本で大きな試合ということで、6 人とも緊張した様子でしたが、全選手が勇猛に試合に挑みました。小学生高学年に出場したソロビヨグレブ選手



は 1 回戦 2 回戦を勝ち進み 3 回戦で惜しくも敗れたものの、2 勝とも 1 本勝ちを収める成績をあげました。シャバシヨフ・エフゲーニ監督は「日本の大会に出れて良い経験ができた。来年は団体戦に参加できるチームをつくりたい」と意気込んでいました。**連載「武道宝鑑」第 18 弾 柔道秘訣 柔道教士七段 尾形源治 『柔道修行の心得』は、今週はお休みし、次週号にてお伝えします。**